

令和3年1月～12月 奈良県宿泊統計調査 結果の概要

- ・延べ宿泊者数は、前年比**8.0%増加**の**1,547,355人**であり、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年比**45.2%減少**となった。
- ・外国人延べ宿泊者数は、前年比**79.4%減少**の**8,522人**となった。

奈良県宿泊統計調査の概要

- ・県内の宿泊動向を把握するため、四半期毎に調査対象となる宿泊施設※に調査票を送付し、調査を実施した。
- ・営業形態(ホテル、旅館、簡易宿所、キャンプ場)別、6つのエリア別に延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数、客室稼働率等を推計した。

※新型コロナウイルス感染症の宿泊療養施設は、調査対象外としている。

推計方法

延べ宿泊者数

- ①エリア別、業態別に回答のあった宿泊施設の月別の「延べ宿泊者数」を「定員数に月中営業日数を乗じた数値」で除して、平均定員稼働率を求める。
- ②県内499件の宿泊施設のエリア別、業態別の総定員数を求める。
- ③②で求めた総定員数に①で求めた月別平均定員稼働率を乗じる。

外国人宿泊者数

- ①外国人宿泊者数の回答のあった施設の月中延べ宿泊者数に対する外国人宿泊者数の比率を求める。
- ②①で求めた比率に県内499件の宿泊施設のエリア別、業態別の総宿泊者数を乗じる。

外国人延べ宿泊者の国籍割合

- ①外国人延べ宿泊者数の国籍割合について、回答のあった施設の人数を合計する。
- ②各国籍別人数の合計を①で求めた合計で除して、割合を求める。

客室稼働率

「客室稼働率」の記載のある宿泊施設については当該数値を用い、記載のない宿泊施設については、「延べ客室稼働数」を「月末現在客室数に月中営業日数を乗じた数値」で除して求めた数値を用いた。

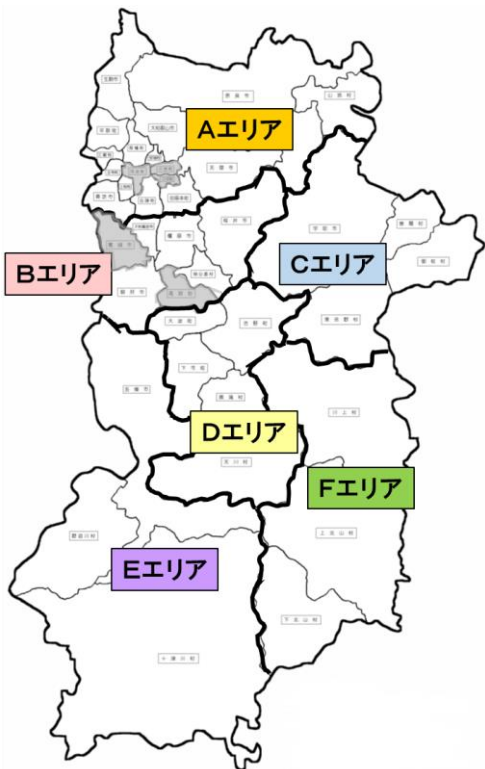
奈良県宿泊統計調査 エリア内訳

エリア別施設数等

エリア	宿泊施設数 (件)	客室数 (室)	定員数 (人)	回収数 (件)	回収率 (%)
A	209	5,009	13,849	136	65.1%
B	58	815	2,349	47	81.0%
C	44	266	1,501	37	84.1%
キャンプサイト		66	290		
D	104	667	4,043	62	59.6%
キャンプサイト		426	1,823		
E	53	441	1,485	39	73.6%
キャンプサイト		18	72		
F	31	224	1,092	18	58.1%
キャンプサイト		30	120		
合計	499	7,422	24,319	339	67.9%
キャンプサイト		540	2,305		

※キャンプサイトは外数

各エリアの市町村一覧



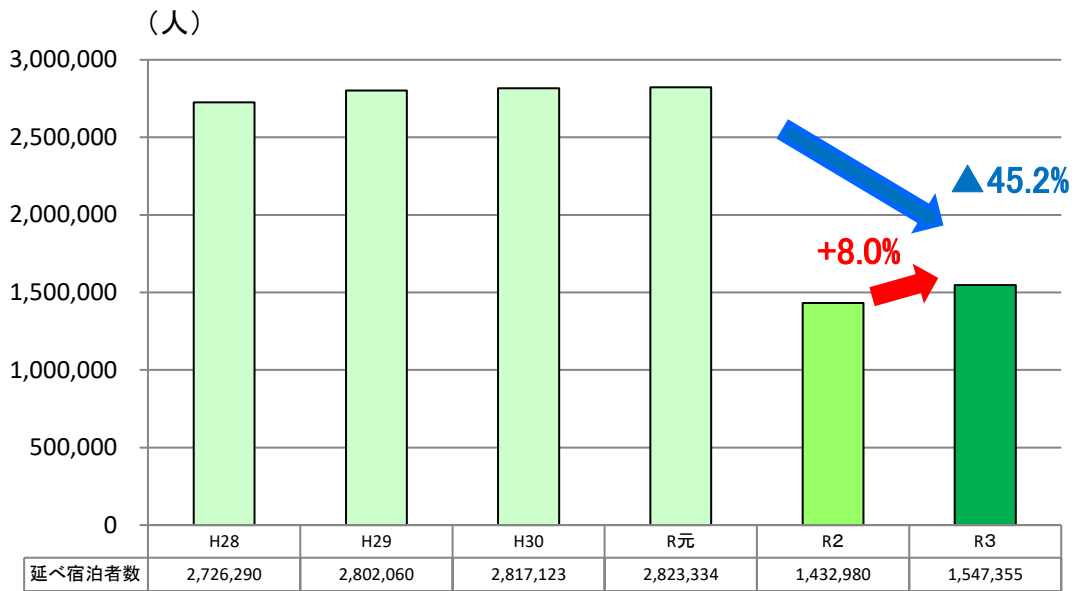
各エリアの市町村一覧

A	奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、上牧町、王寺町、斑鳩町、安堵町、田原本町、広陵町、山添村
B	大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、明日香村
C	宇陀市、曾爾村、御杖村、東吉野村
D	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
E	五條市、野迫川村、十津川村
F	川上村、上北山村、下北山村

※対象宿泊施設無し

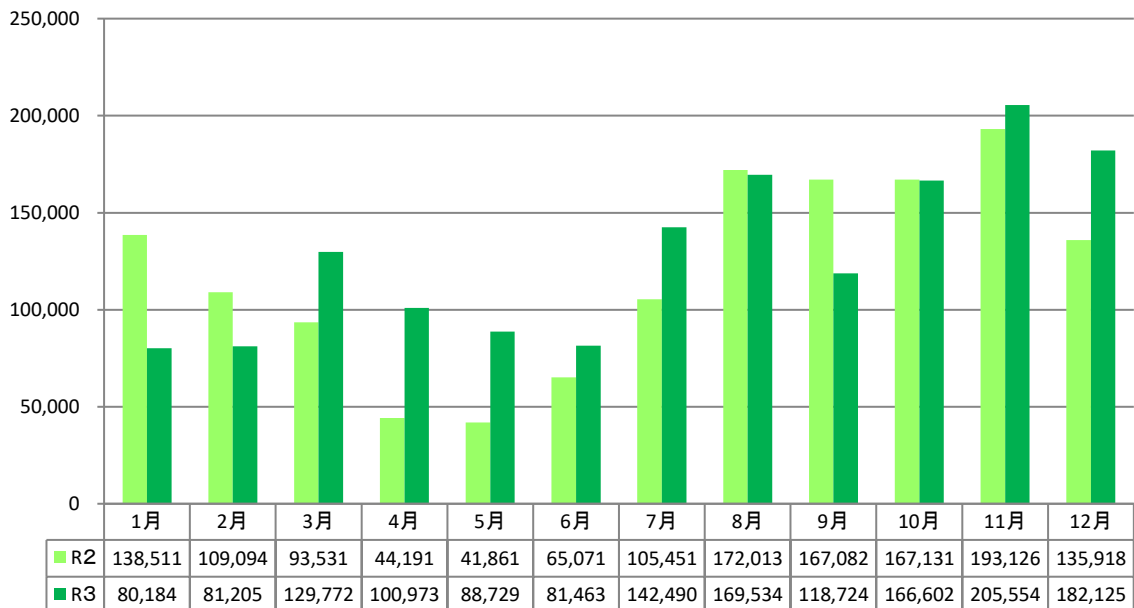
葛城市、河合町、川西町、三宅町、高取町

延べ宿泊者数の推移(H28～R3年)



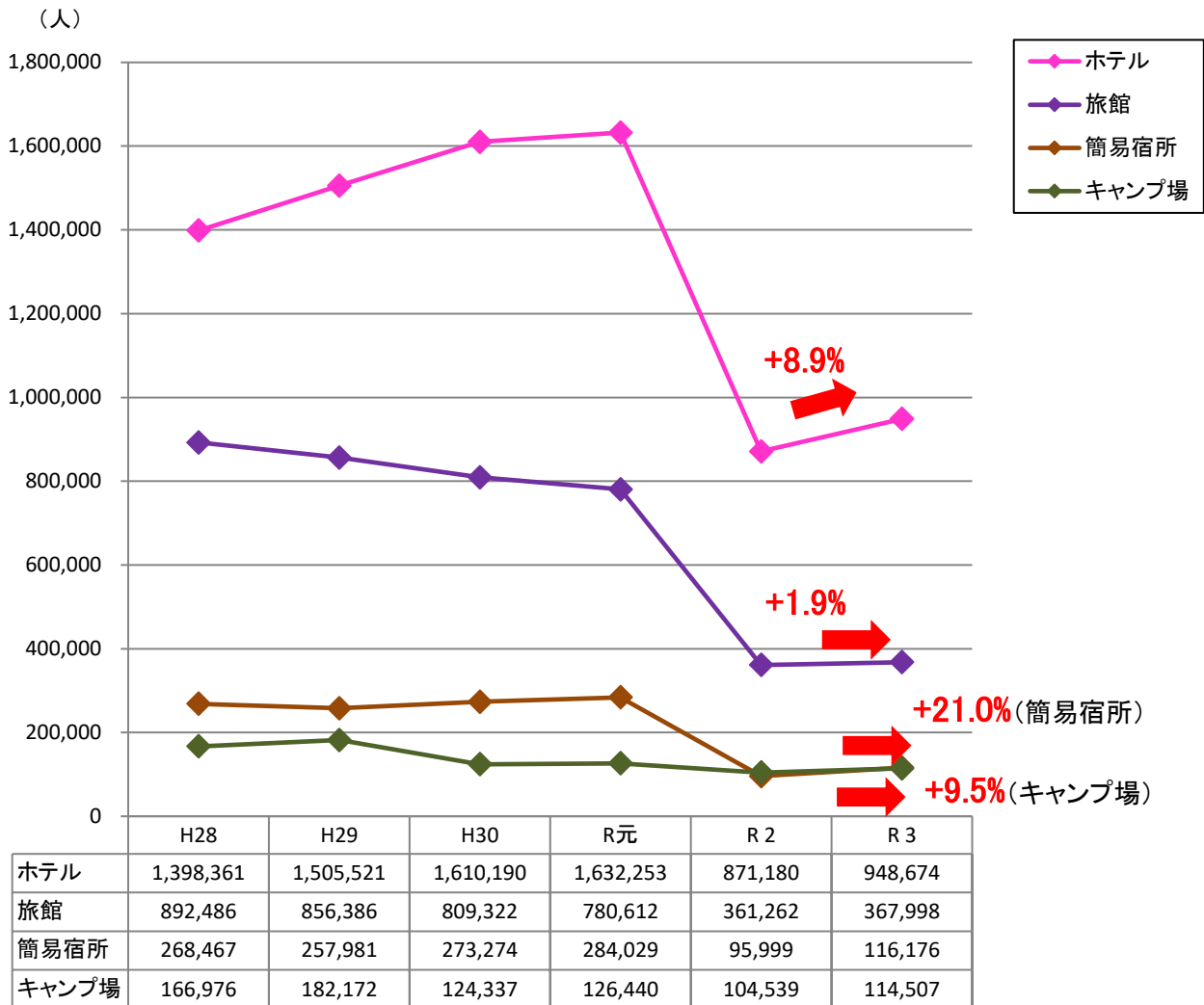
前年比114,375人(8.0%)の増加。
 新型コロナウイルス感染症感染拡大前の令和元年から1,275,979人(45.2%)の減少。

延べ宿泊者数の月別推移



- ・1～2月は、年末年始からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大、首都圏や近隣府県に緊急事態宣言が発出された影響を受け、宿泊者数は低迷。
- ・10月以降は、新型コロナウイルス感染症の2回目ワクチン接種が進み、感染者数が大きく減少したことにより宿泊需要が回復、12月は県内宿泊等促進キャンペーン(「以下、いまなら。キャンペーン」)もあり、宿泊者数が回復。

業態別延べ宿泊者数の推移(H28～R3年)



前年・令和元年※比較

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大前

ホテル 前年比 77,494人増加(+8.9%) 令和元年比 683,579人減少(▲41.9%)
 旅館 前年比 6,736人増加(+1.9%) 令和元年比 412,614人減少(▲52.9%)
 簡易宿所 前年比 20,177人増加(+21.0%) 令和元年比 167,853人減少(▲59.1%)
 キャンプ場 前年比 9,968人増加(+9.5%) 令和元年比 11,933人減少(▲9.4%)

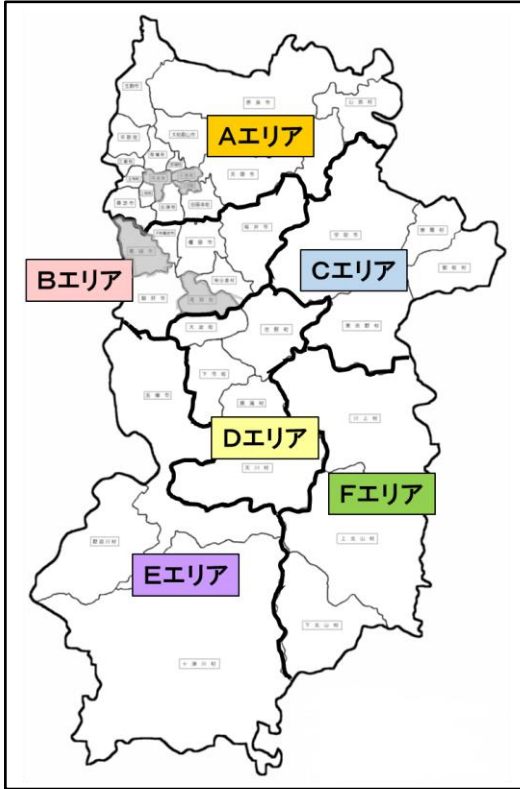
平成28年との比較

ホテル 449,687人減少(▲32.2%)
 旅館 524,488人減少(▲58.8%)
 簡易宿所 152,291人減少(▲56.7%)
 キャンプ場 52,469人減少(▲31.4%)

・令和3年は、新型コロナウイルス感染症の影響により旅行需要が落ちこんだ前年に比べ、宿泊者数がわずかに回復。

エリア別延べ宿泊者数の割合

各エリアの市町村一覧

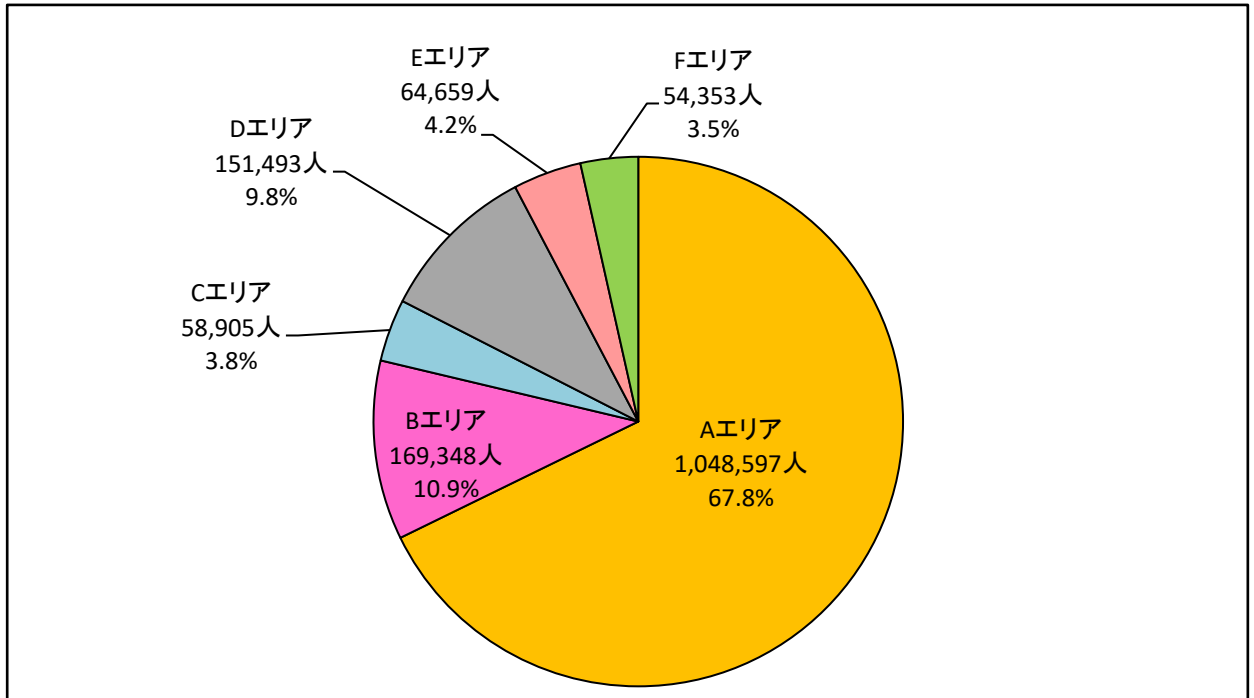


各エリアの市町村一覧

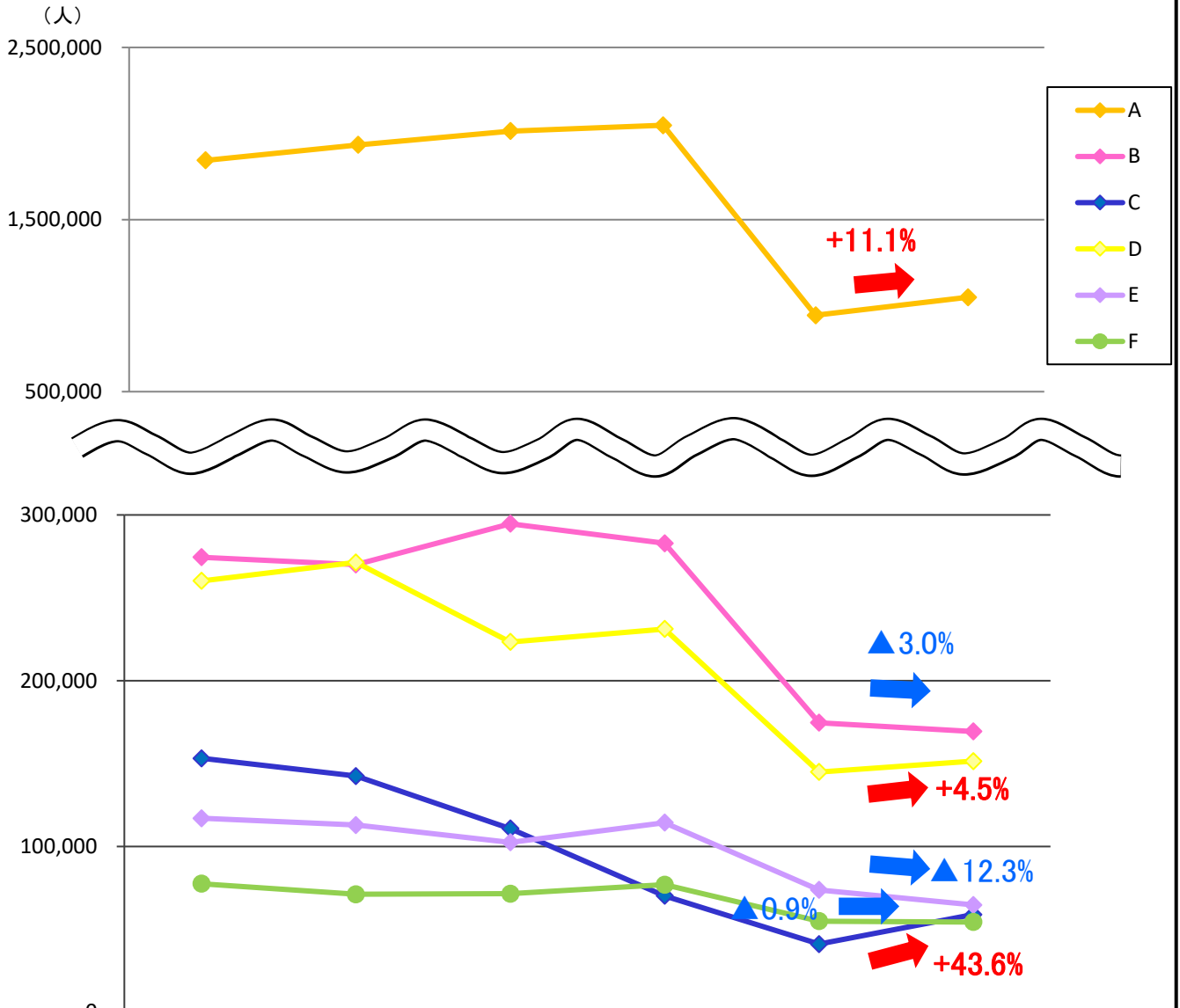
A	奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、上牧町、王寺町、斑鳩町、安堵町、田原本町、広陵町、山添村
B	大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、明日香村
C	宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村
D	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
E	五條市、野迫川村、十津川村
F	川上村、上北山村、下北山村

※対象宿泊施設無し

葛城市、河合町、川西町、三宅町、高取町



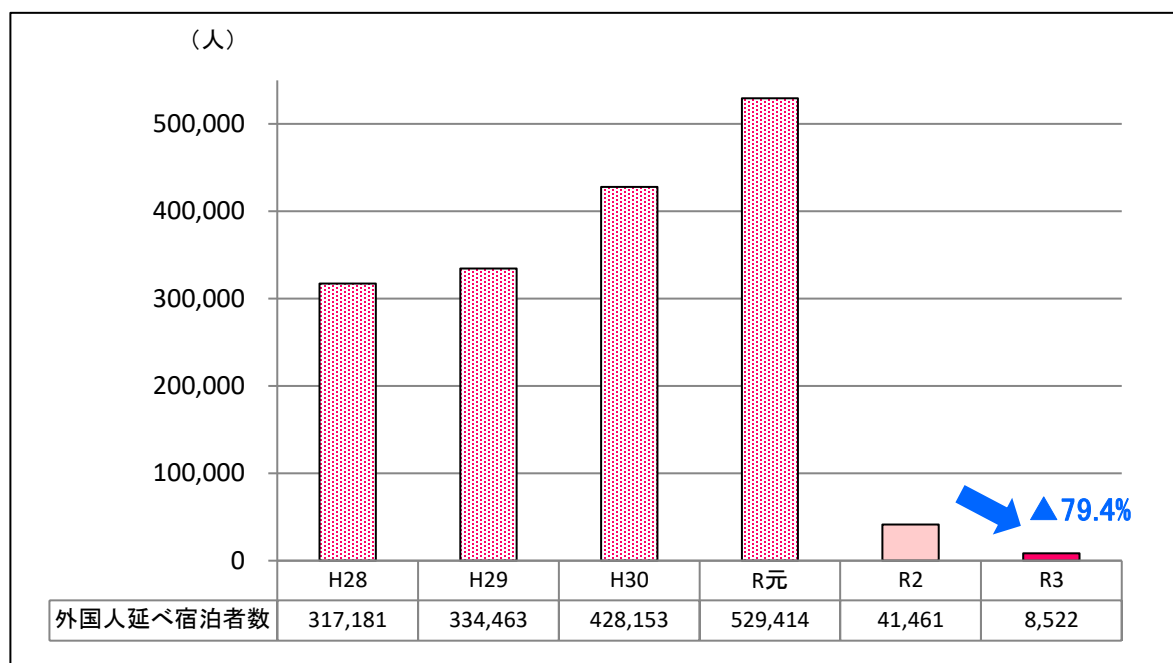
エリア別延べ宿泊者数の推移(H28～R3年)



	H28	H29	H30	R元	R2	R3
A	1,843,982	1,934,182	2,014,369	2,047,844	943,839	1,048,597
B	274,514	270,122	294,741	282,942	174,603	169,348
C	153,138	142,430	110,726	70,146	41,030	58,905
D	260,229	271,369	223,409	231,209	144,935	151,493
E	116,930	112,859	102,404	114,320	73,732	64,659
F	77,497	71,098	71,474	76,873	54,841	54,353

- ・Aエリアは、テレワークのような新たなビジネス需要を取り込み、前年比で増加。
- ・Cエリアは、キャンプブームを取り込んだことにより、前年比で増加。
- ・Fエリアは、休業する施設もあり、前年比で減少。

外国人延べ宿泊者数の推移

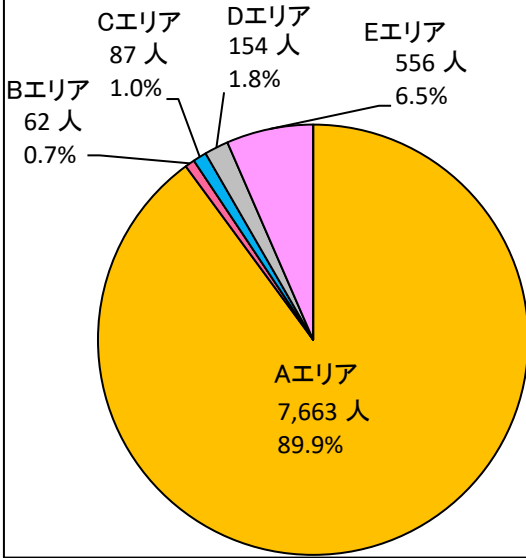


- ・外国人延べ宿泊者数 8,522人
- ・前年との比較 32,939人減少 (▲79.4%)
- ・平成28年との比較 308,659人減少 (▲97.3%)

・新型コロナウイルス感染症拡大による海外からの入国制限等の影響で大幅に減少。

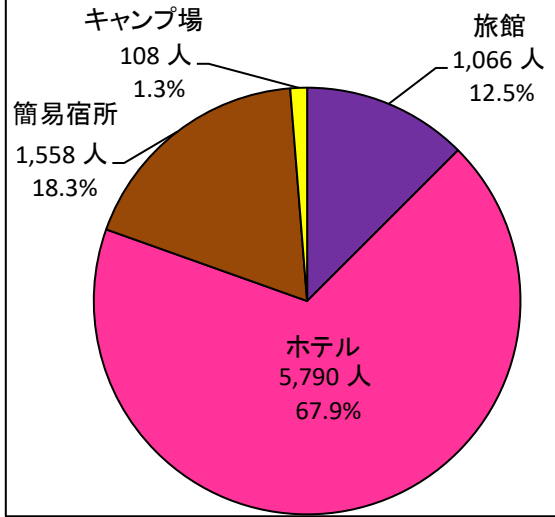
外国人延べ宿泊者数の割合

R3年 エリア別外国人延べ宿泊者数



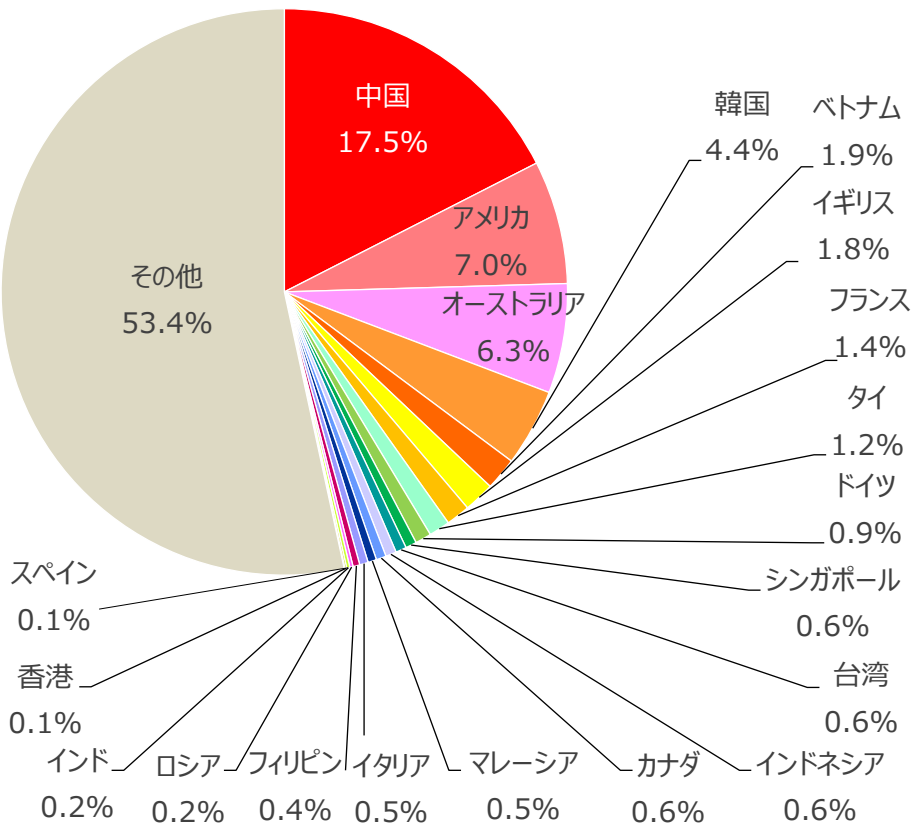
- ・前年同様、約9割がAエリアに集中。
- ・Aエリアの外国人延べ宿泊者数は対前年比79.6%減少。

R3年 業態別外国人延べ宿泊者数



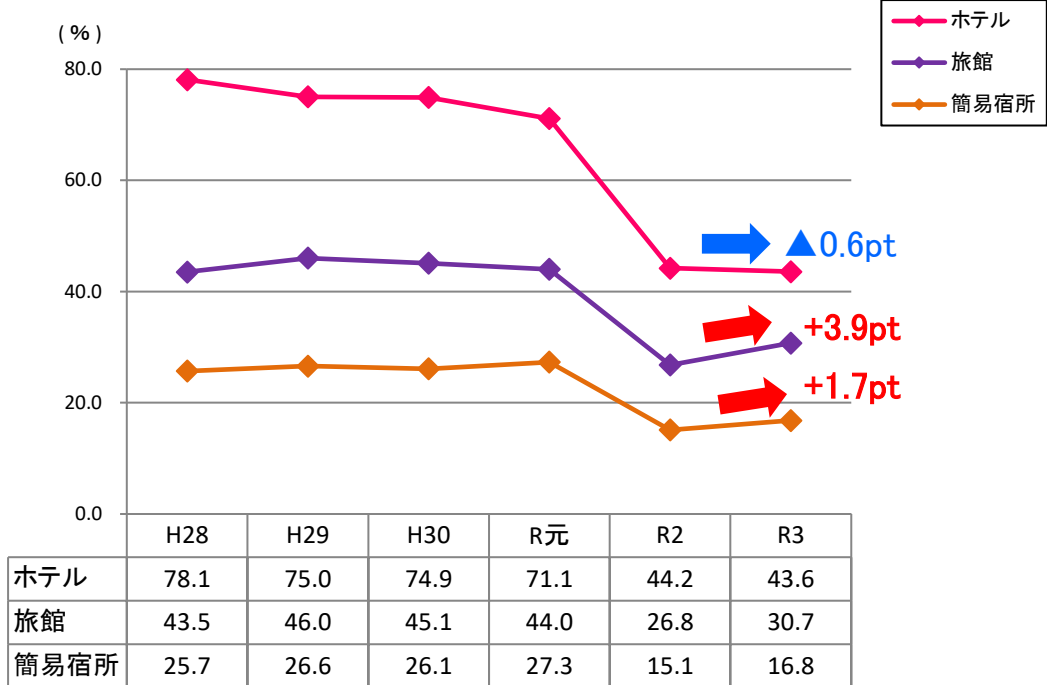
- ・業態別ではホテルに約7割が集中。
- ・ホテルの外国人延べ宿泊者数は対前年比79.9%減少。

外国人延べ宿泊者の国籍割合



※国別割合は小数点以下の端数処理の関係で、合計は100.0%にならない場合がある。

客室稼働率の推移(H28~R3年)



前年・令和元年※比較

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大前

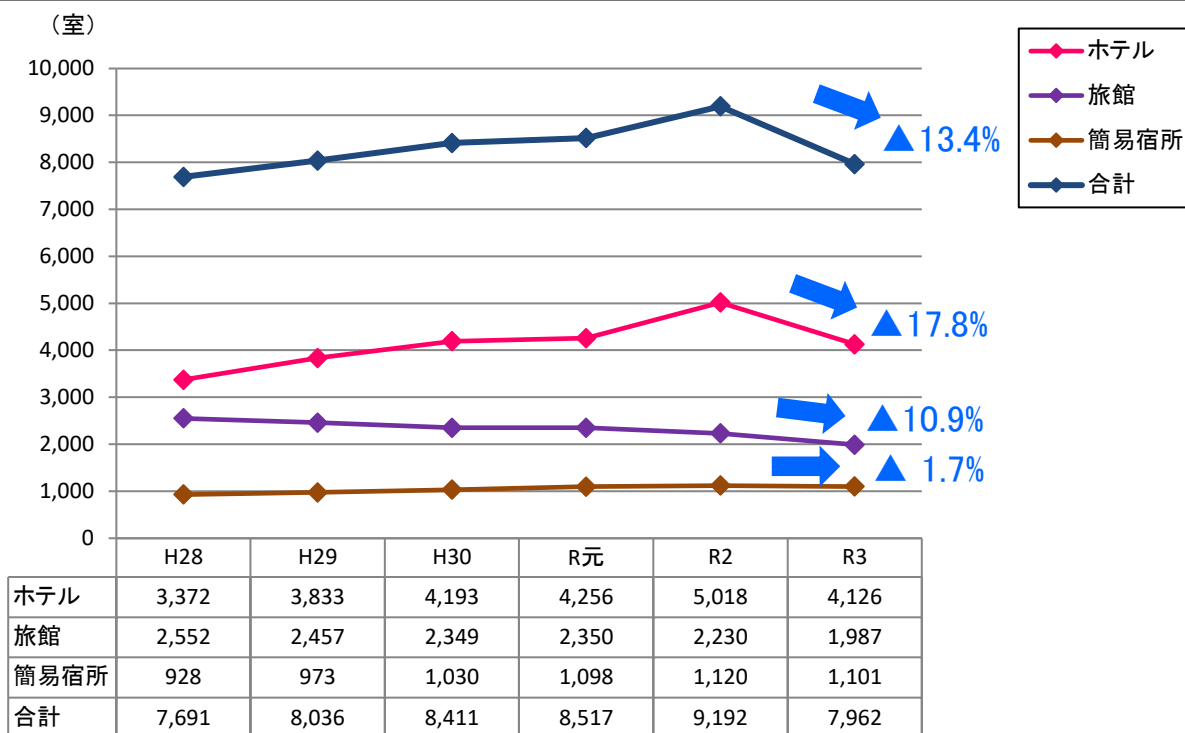
ホテル	前年比 0.6ポイント減少	令和元年比 27.5ポイント減少
旅館	前年比 3.9ポイント増加	令和元年比 13.3ポイント減少
簡易宿所	前年比 1.7ポイント増加	令和元年比 10.5ポイント減少

平成28年との比較

ホテル	34.5ポイント減少
旅館	12.8ポイント減少
簡易宿所	8.9ポイント減少

- ・旅館、簡易宿所は、前年比でわずかに増加。
- ・ホテルは前年比でほぼ横ばい。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の令和元年、平成28年比では、全ての業態で大きく減少。

業態別客室数の推移(H28～R3年)



※合計にはキャンプ場も含む

前年・令和元年※比較

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大前

ホテル 前年比 892室減少(▲17.8%) 令和元年比 130室減少(▲ 3.1%)
 旅館 前年比 243室減少(▲10.9%) 令和元年比 363室減少(▲15.4%)
 簡易宿所 前年比 19室減少(▲ 1.7%) 令和元年比 3室増加(+ 0.3%)

平成28年との比較

ホテル 754室増加(+ 22.4%)
 旅館 565室減少(▲22.1%)
 簡易宿所 173室増加(+ 18.6%)

- ・ホテルは新型コロナウイルス感染症の療養施設に利用している施設があり、営業している客室数が減少。
- ・旅館は新型コロナウイルス感染症の感染拡大前から減少傾向。
- ・平成28年との比較は、ホテルは**754室**、簡易宿所は**173室増加**、旅館は565室減少。